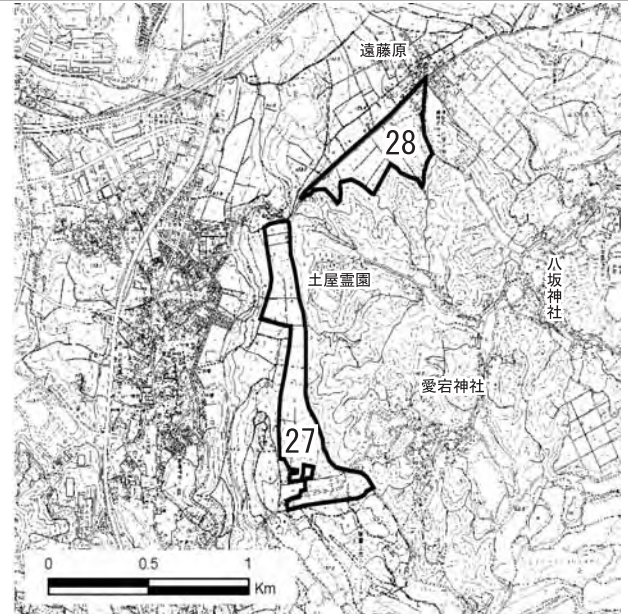


## 大地区Ⅶ 遠藤原台地

【評価】

	自然	場	緑の質	生物
総合	C	C	D	D
C	人とのかわり	景観	ふれあい	人文
	C	A	D	E

【地区位置】





	内 容
総合評価	農地を主体とする自然と景観がみられる。人とのふれあいの場としての利用は少なく、人文資源も少ない。里山らしさがある程度残されている。
自然評価 総評	地形の骨格となる、遠藤原台地の一角をなす。畑地が広がり、樹林が少ないため、おもに明るい草地を好む指標種が生息している。
人との かわり 評価総評	畑地を主体とする里山の景観がよく残されている。人とのふれあいの場としての利用は少なく、人文資源も少ない。本地区は、中井町との市境にあり、本来は、中井町側と一体の地域である。遠藤原地区の畑地は、中井町側の畑地と雑木林につながっており、典型的な里山の風景で、晴れた日には、丹沢まで遠望できる。また、中井町側には道祖神などの人文資源がある。

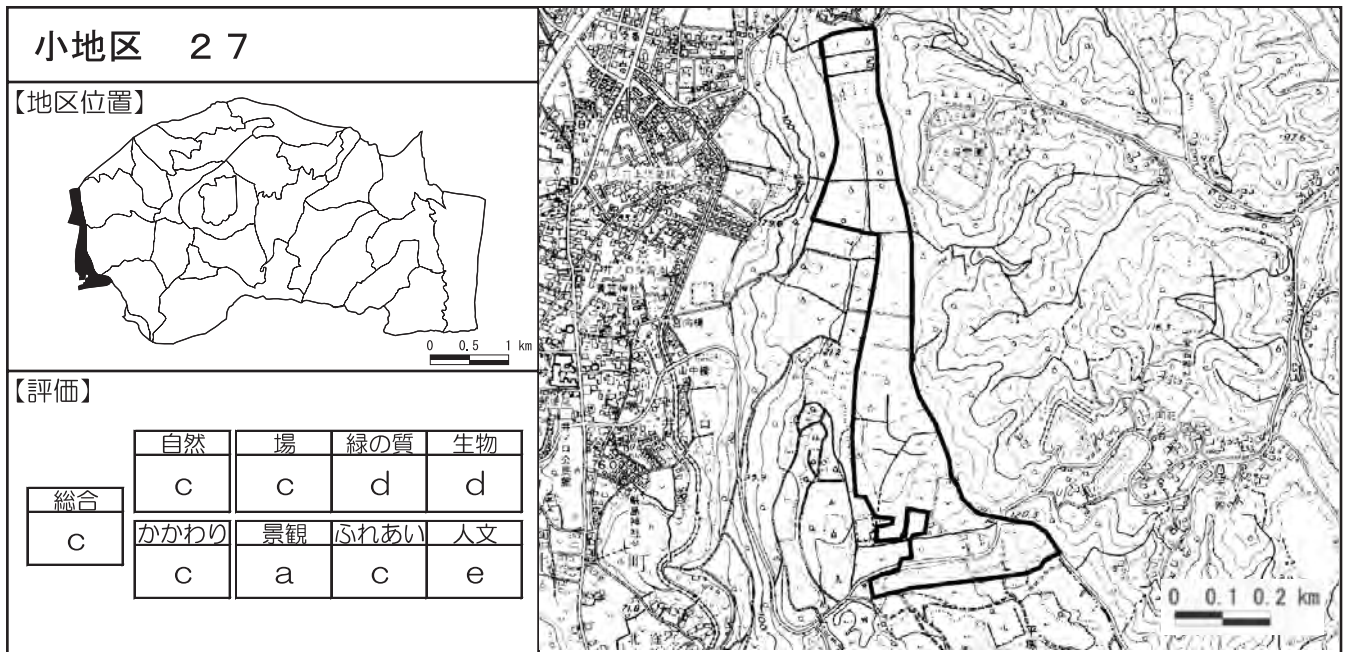


緑と文化の湘南丘陵の道 2005年12月9日撮影

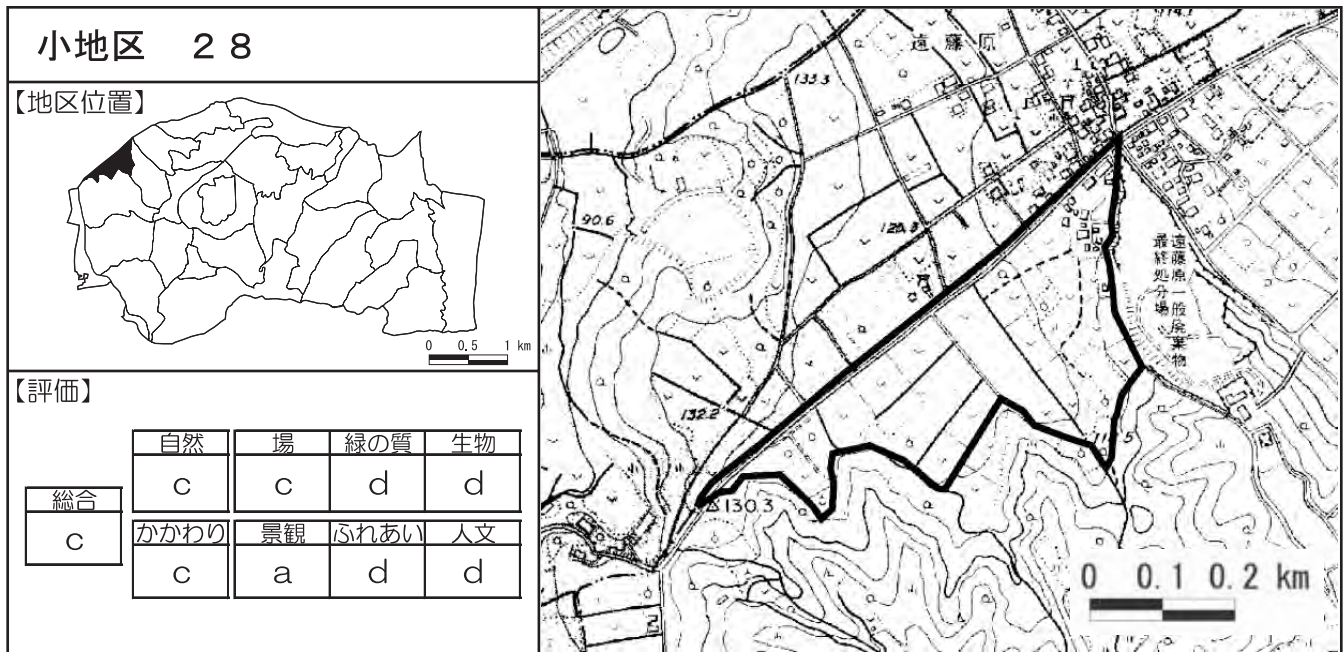


遠藤原地区内の風景 2005年12月9日撮影

		内 容	
景 観		<p>里山景観要素の割合が91.5%と高く、里山の景観がよく残されている。畑地が66.4%を占め、樹林が22.6%である。</p> <p>地区の83.9%が地域外の都市景観が視界に入らない領域である。</p>	
ふれあい		<p>【散策路】『湘南ひらつかやすらぎ回廊』（「緑と文化の湘南丘陵の道」）</p> <p>【展望地点】『平塚八景』（「遠藤原」）</p> <p>【自然体験フィールド】なし</p> <p>【自然観察場所】</p> <p>小地区27の東側の斜面上部周辺の道や、小地区28の北西側の中井町との境界沿い、周辺の道が利用されている。</p> <p>【自然とのふれあい施設】なし</p>	
人 文		<p>【道祖神】中井町との境界沿いに、1箇所ある。</p> <p>【水神】なし</p> <p>【史跡】上惣領の富士塚、五十塚、六十塚</p> <p>【保全樹】なし</p> <p>【指定文化財】なし</p> <p>【社寺】なし</p> <p>【湧水】なし</p> <p>【滝】なし</p>	
			
		六十塚 2005年9月17日撮影	遠藤原より大山を望む 2004年4月7日撮影



内 容	
総合評価	畑地を主体とする自然と景観がみられる。人文資源は少ないが、人とのふれあいの場となっている。里山らしさがある程度残されている。
自然評価 総 評	地形の骨格となる遠藤原台地の一角をなしている。 畑地が広がり樹林は少ないため、おもに草地を好む指標種が生息、生育している。生物的には豊かとはいいがたいが、里山の自然を縁どる農地である。
人との かかわり 評価総評	畑地を主体とする里山の景観がよく残されている。 散策路、『平塚八景』に指定されている眺望点があり、地区の一部で自然観察場所としての利用もなされ、人とのふれあいの場となっている。 富士塚があるが、集落がないため、人文資源は少ない。
景 観	里山景観要素の割合が 90.9%と高く、里山の景観がよく残されている。畑地が 63.6%を占め、畑地の中に樹林 23.3%が散在している。 地区の 87.3%が、地域外の都市景観が視界に入らない領域である。
ふれあい	地区の東側の斜面上部の道が、『湘南ひらつかやすらぎ回廊』の「緑と文化の湘南丘陵の道」に選定されている。 遠藤原が、『平塚八景』の「七国峠、遠藤原」に選定されており、初夏にツツジやリンドウの花が咲き乱れる景観がみられる。 自然観察場所は、地区東側の斜面上部の道が利用されている。
人 文	史跡は、七国峠から遠藤原に向かう途中の小高い雑木林の中に、上惣領の富士塚（浅間神社の石の祠）がある。



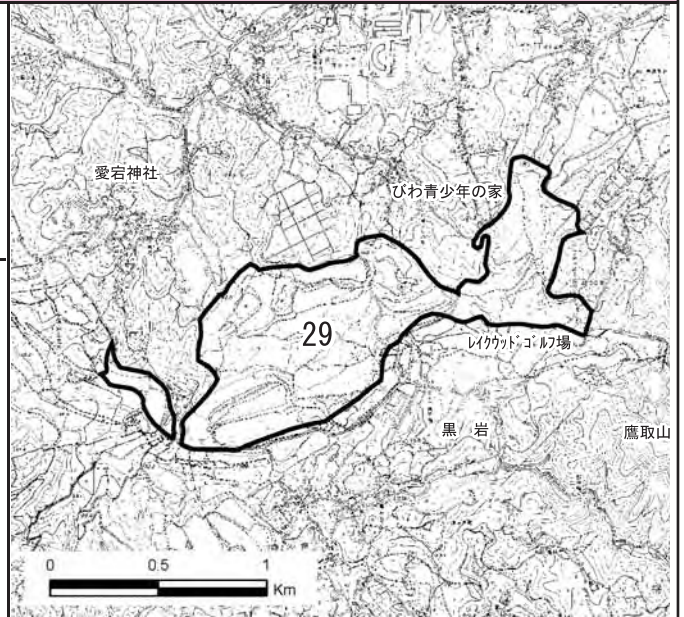
内 容	
<b>総合評価</b>	畑地を主体とする自然と景観がみられる。人とのふれあいの場としての利用は少なく、人文資源も少ない。里山らしさがある程度残されている。
<b>自然評価 総評</b>	地域の地形の骨格となる遠藤原台地の中核をなしている。 畑地が広がり樹林は少ないため、おもに草地を好む指標種が生息、生育している。 生物的には豊かとはいいがたいが、里山の自然を縁どる農地として重要である。
<b>人との かかわり 評価総評</b>	畑地を主体とする里山の景観がよく残されている。 散策路があり、地区の一部で自然観察場所としての利用もなされているが、畑地が主体であるので、人とのふれあいの場としての利用は少ない。 道祖神、五十塚、六十塚の人文資源がある。
<b>景 観</b>	里山景観要素の割合が 92.3%と高く、里山の景観がよく残されている。畑地が 70.8%を占め、畑地の中に樹林 21.4%が散在している。 地区の 78.4%が地域外の都市景観が視界に入らない領域である。
<b>ふれあい</b>	地区の北西側の中井町との境界に沿って、『湘南ひらつかやすらぎ回廊』の「緑と文化の湘南丘陵の道」が選定されている。 自然観察場所は、地区北西側の中井町との境界沿いや、周辺の道が利用されている。
<b>人 文</b>	道祖神は、北西側の中井町との境界沿いに 1 箇所ある。 史跡は、畑の中に五十塚、六十塚がある。

大地区Ⅷ ゴルフ場

小地区 29

【評価】

	自然	場	緑の質	生物
総合	C	D	C	D
C	人とのかわり	景観	ふれあい	人文
	D	C	E	E



【地区位置】





	内 容
総合評価	ゴルフ場の敷地である。広大なオープンスペースであるが、里山らしさは残されていない。
自然評価 総 評	ゴルフ場であり、芝地、修景用の植栽樹木、人工池からなり、種数は少ないものの、草地と水辺の指標種が生息、生育している。人工改変地であるが、座禅川上流と鷹取山山麓の中核となる緑の間に位置し、管理の仕方によっては、将来コリドーの役割が期待できる。
人との かわり 評価総評	ゴルフ場の敷地であり、オープンスペースが広がっている。 敷地の外縁の道は、散策路とされている。 杜鵑山宝篋印塔（とけんやまほうきょういんとう）や、ゴルフ場コース内に道祖神が1箇所あるが、その他の人文資源は少ない。



ゴルフ場を横切る市道 2004年11月2日撮影



杜鵑山宝篋印塔 2005年7月21日撮影

	内 容
景 観	<p>ゴルフ場の敷地であり、里山景観要素は41.5%と低い。人工草地在55.0%を占め、コース間に樹林37.7%がみられる。地区内の稜線は、地域の32.1%から眺望できる。</p> <p>地区の14.0%が、地域外の都市景観が視界に入らない領域である。</p>
ふれあい	<p>【散策路】『関東ふれあいの道』</p> <p>【展望地点】なし</p> <p>【自然体験フィールド】なし</p> <p>【自然観察場所】なし</p> <p>【自然とのふれあい施設】なし</p>
人 文	<p>【道祖神】ゴルフコース内に1箇所ある。</p> <p>【水神】なし</p> <p>【史跡】杜鵑山宝篋印塔</p> <p>【保全樹】なし</p> <p>【指定文化財】なし</p> <p>【社寺】なし</p> <p>【湧水】なし</p> <p>【滝】なし</p>
	
ゴルフ場内の眺望 2005年9月21日	ゴルフ場内の池 2004年6月24日